

## 論文

# マンガを用いた心理学的アプローチにおける 教材開発の検討

井島 由佳

本研究の目的は、マンガが心理学的アプローチとしての教材になり得ることについて検討することであった。本稿では、社会人対象のセミナーの事例を通して、マンガは教材となり得る可能性が高いことを示した。

昨今、ストレス対策などの心理的な教育にレジリエンスの概念が挙げられている。レジリエンスの概念と能力を説明する際に「鬼滅の刃」というマンガを通し、心理学用語の説明がストーリーやキャラクターに匹敵することがわかり、理解が容易となったと考えられる。とくに、レジリエンスの概念は「鬼滅の刃」のストーリーやキャラクターの姿勢に一致する部分が多く、心理学的アプローチに相当している。マンガを教材とし、心理学的な教育を行うことは理解が促進され、一定の効果を期待できることが示唆された。

社会人は、学校教育期間を終えて年数が経っており、心理学を中心とした教育は受けていない人も多く、マンガを教材とした心理学的アプローチは、メンタルヘルスや健康教育、個人のキャリア開発などの心理学を根幹にしたリカレント教育としての可能性があることが示唆された。

キーワード：心理学的アプローチ、教材、マンガ、レジリエンス、「鬼滅の刃」

## 1. はじめに

心理学とは、心と行動の学問として、科学的な手法によって研究されるものであり<sup>1)</sup>、誰もが人間を理解する上で学ぶことを推奨できるものである。しかし、心理学は初等中等教育の中では教科として扱われるものではなく、高校教育の「倫理」の中で幾人かの研究者と理論が紹介されるに留まっている。大学において初めて学問的に科目を通して学ぶことができる。ただし、科目を修得することだけが心理学を学ぶことにはならず、書籍や研修を通して知ることも可能である。

ストレス社会と言われる昨今、大人になってから人間関係や仕事のモチベーションなどの悩みや迷いは多発し、心理学的な視点から物事を考えることが打開策となることもある。そのことから、企業の社員研修等では、ストレス対策やコミュニケーションに関するものを実施しており、自らに起きている現象の理解を、研修を通して心理学で説明されていたことを初めて知る人もいる。専門書ではな

く、ビジネス書籍にて心理学的アプローチを述べているのは、学問として学ぶ以外の機会を提供しているものと考えられる。

研修や書籍で、心理学的アプローチによる事象の説明と理解を深める手立てとして、マンガ<sup>2)</sup>を教材とすることも可能である。例えば、高橋(2020)は「文学国語」における教材の一つとして、マンガの持つ教材としての可能性について考察しており、マンガは情報活用能力として文字と静止画に当たることを示しており、教材としての可能性を指摘している。また、向井・船橋(2020)は、中学校において、自己と他者を理解する方法として性意識・性行動の育成をするためにマンガを教材として実施する試みをしている。

全ての人がマンガを好きであるわけではなく、また、受入れられるものではない。しかし、マンガのストーリーやキャラクターは、他人の疑似人生として考えることができ、心理学的アプローチとして事象の理解を容易にすることが考えられる。それは、大学生の調査(井島, 2020)で「マンガは自己実現に関わる行動や態度、人間関係を大切にすること、物事のきっかけや学びにつながっていること」が示されていることから示唆できる。人気マンガであれば尚のこと、心理学的アプローチの理解が容易となり、社会人においては実社会での活かし方を知るリカレント教育の役割を果たすことが推察できる。

そこで、本研究では少年マンガで爆発的ヒットとなった吾峠呼世晴作の「鬼滅の刃」を用いて、心理学的アプローチの研修を実施し、受講者にとって心理学的見地の理解と自らの振り返りとなったかについて考察し、マンガが心理学的アプローチとしての教材となり得ることについて検討することを目的とする。

## 2. 「鬼滅の刃」とレジリエンス教育

### 2-1 「鬼滅の刃」とは

「鬼滅の刃」は、吾峠呼世晴によって描かれたマンガであり、「週刊少年ジャンプ」(集英社)に2016年2月15日～2020年5月18日まで連載され、全205話(コミック23巻)で完結したものである。内容を簡易に示すと、大正時代を背景とし、鬼と戦う主人公と所属する鬼殺隊の活動が描かれた剣戟マンガであり、呼吸と技と刀で鬼と対峙する戦闘シーンが印象的なものである。

週刊誌に連載されている中、2019年4月よりTOKYO MXほか全20局にてテレビアニメ化され、2021年12月より二期が放映(前半は「無限列車編」テレビバージョン、後半から「遊郭編」)されている。一期のアニメ化終了後より、コミック売上げが向上し<sup>3)</sup>、劇場映画が公開された後の2021年2月時点で、コミックス累計発行部数は1億5千万部(電子版含む)を突破している。

このマンガが爆発的にヒットした要因の1つに映画化されたことが挙げられる。2020年10月より劇場版「鬼滅の刃 無限列車編」公開され、2021年5月23日に興行収入400億円突破し、日本映画史上第1位の興行収入を叩き出した<sup>4)</sup>。この映画はアメリカ、台湾、香港、オーストラリア、中南米など45の国と地域で上映され、全世界での累計来場者数は約4135万人、総興行収入は約517億円を記録した(シネマカフェ, 2021)。暴力表現に敏感な海外でも受け入れられ、人気を誇ったことがわかる。SNSなどに挙げられる感想やファンメッセージは、年齢層が高いことが観察され、コミックの購入や

映画を観に行ったのは子どもだけではなく、大人がその数字に貢献していることが伺える。様々な企業とのコラボレーションも話題となり、関連グッズが多数販売されており、所謂「アニメオタク」ではない人たちの購入が盛んとなったことから「鬼滅貧乏」という言葉も生まれた<sup>5)</sup>。

少年マンガがこれほどまでに老若男女に受け入れられた要因は様々に分析されているが、コロナ禍において1回目の緊急事態宣言下でアニメが20を超える配信プラットフォームに上がったこと、アニメや映画の優れた映像化とストーリーとキャラクターの個性であると考えられる。心理学的アプローチについて述べることから、配信プラットフォームと映像化の好評についてはここでは割愛し、ストーリーとキャラクターの個性について言及する。

「鬼滅の刃」の主人公は、炭焼き職人の長男である竈門炭治郎で、13歳から15歳程度までの成長が描かれている。物語の世界観としては人を喰らう鬼が存在している。この鬼を殲滅させるために、1000年を懸けて活動してきた政府非公認の鬼殺隊があり、炭治郎が入隊するきっかけを通して物語は始まっていく。炭治郎が町に炭を売りに行き不在のとき、家族が鬼によって惨殺され、一人生き残っていた妹の禰豆子は、鬼になっていた。父親が早くに亡くなり、家族を支えていた炭治郎は、深い悲しみの中にあって、禰豆子を人間に戻す方法を探し、多くの人が鬼によって悲しい思いをしないようにするため、鬼殺隊隊員となって活動することを選択したことが中心となっている<sup>6)</sup>。

このストーリーについて井島(2021)は、『鬼滅の刃』に出てくるキャラクターは主人公のみならず、常に「困難で理不尽な状況」にいる。まず、鬼の存在そのものが理不尽である。通常の間では太刀打ちできず、鬼殺隊も命懸けで鬼と闘っていく。鬼は、古事記に厄災である流行病(天然痘)の象徴として登場している。「鬼滅の刃」の舞台でも、鬼の始祖である鬼舞辻無惨を始め厄災として扱われており、新型コロナが席卷している昨今、この病も「鬼」と言えることから、現在の状況とも重なって見える。『鬼滅の刃』の全体を通して伝わってくるメッセージは、レジリエンス(resilience)である」と示している。

ストーリーやキャラクターのあり方は、心理学的アプローチで説明できる箇所が多々あり、心理学の用語解説や意味の理解を促進することに役立つと考えられる。そのようなマンガは他にもあるが、「鬼滅の刃」の人気の年齢に左右されないほど高いことが、教材としての貢献度が高いことを推察させる。国民的マンガと言われる「ドラえもん」や「サザエさん」とは異なるアクションマンガであるが、困難や理不尽な状況から負けずに立ち上がっていくキャラクターの姿は特筆されていると考えられる。

## 2-2 レジリエンス教育とは

レジリエンス(resilience)は、再起力や回復力を意味する言葉であり、物理学の用語であったものから、人間の態度や姿勢にも用いられるようになった。近年はメンタルヘルスやストレス対処の観点から重視されている概念である。小林(2021)は、日本において心理学領域にレジリエンスが示されるようになったのは比較的新しいが、東日本大震災後から国に政策にも出てきており、一般的になりつつある概念であることを述べている。

その定義は、Masten, Best and Garmezy(1990)によって提示された、「自己が日常生活における困難な状況に遭遇しても適応できる強さや力をもつという信念や、困難な状況への適応のプロセスや結果のことである」が挙げられる。また、石毛・無藤(2005)は、「ストレスフルな状況でも、精神的健

康を維持する、あるいは回復へと導く心理的特性」と述べており、本郷（2015）は「復元力」と「抵抗性」という側面を示している。

これらは、困難や逆境に直面したとき、心折れることなく、立ち直って「うまく適応できる能力」であり、成長する能力、しなやかな強さを意味する概念といえる。この概念は、スキルや能力と見做すことが可能である。Alvord & Grados（2005）は「レジリエンスは、個人が困難、難しさや挑戦に適応できるようにするスキル、属性、および能力として捉え、レジリエンススキルを習得し、強化することができる」と述べていることから、心理学的アプローチによる教育が可能であることを示唆している。

レジリエンスをスキルや能力と考えたとき、レジリエンスを幾つかの能力によって構成されていることを示したのは Karen Reivich（2002）であり、その構成要素（能力）を、感情調整力、衝動調整力、共感力、楽観力、原因分析力、自己効力感、リーチアウト力（働きかけ力）の7つであると示している。7つの能力は、意識的に伸ばせるものであり、能力が現れている姿を知ることで具体的に自身の行動と照合することが可能である。

これらの能力を理解するものとして、「鬼滅の刃」のキャラクターのセリフや描かれる姿勢を当てはめて説明することで、イメージが容易であり、自分の立場であったら何をすることで高めることが可能なかを推測することに役立つことができる。例えば、主人公の炭治郎のセリフで「頑張れ 炭治郎 頑張れ！！ 俺は今までよくやってきた！！ 俺はできる奴だ！！ そして今日も！！ これからも！！ 折れていても！！ 俺が挫けることは絶対に無い！！」（「鬼滅の刃」3巻 第24話「元十二鬼月」より）があるが、これは自己効力感の説明として用いることができる。また、映画でも有名になった煉獄杏寿郎のセリフに「胸を張って生きろ 己の弱さや不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようと 心を燃やせ 歯を喰いしばって前を向け 君が足を止めて蹲っても時間の流れは止まってくれない 共に寄り添って悲しんではくれない」（「鬼滅の刃」8巻 第66話「黎明に散る」より）があるが、他者と関わり、他者を巻き込み、他者の行動を促進させる能力であるリーチアウト力や共感力を示していると考えられる。

「鬼滅の刃」は、ストーリー全体にキャラクターが理不尽に打ち勝ち、困難な状況に対処し、成長する姿が描かれていることから、レジリエンスと構成要素（能力）を学ぶものとして適した教材となり得ることが勘案できる。学校教育以外では、著作権の関係からマンガそのものを見せながら行うことは困難であるが、セリフや状況を補足することでイメージは容易となる。このマンガを知らない人にとってはすぐに理解できるものはないが、状況説明とキャラクターの特性を知らせることで、レジリエンススキルを想像することを促せると考えられる。

### 3. 「鬼滅の刃」を用いたレジリエンス研修

#### 3-1 研修実施

「鬼滅の刃」を教材としてレジリエンスを知り、高めるための心理学的アプローチによる研修を社会人対象に行った例を表1に示した。題材及び教材がマンガであることから、知っている人と知らない人に分れたことは必至であったが、主催者はそのことを含んだ上で実施することを示していた。「鬼

滅の刃」を教材にレジリエンスと構成要素（能力）を理解すること、レジリエンスが高いことや低いことのメリット・デメリット、レジリエンススキルが生活に及ぼす傾向、レジリエンスを高めるために必要な行動や考え方及び姿勢などを心理学用語を用いたことから、全て心理学的アプローチで実施した。

表1 「鬼滅の刃」を用いたレジリエンス研修実施例

| 組織                    | 研修名   | 対象者                              | 形式                        | フィードバック  |
|-----------------------|---|----------------------------------|---------------------------|----------|
| A 社運営福利厚生サービス会員向けセミナー | コロナ禍で考えたい、家族の絆と逆境に立ち向かう力『鬼滅の刃』流強い自分の作り方             | 会員・家族小学生～50代600名超                | リアルタイムオンライン講義 90分         | 質問       |
| B 社社員研修               | 「鬼滅の刃」から学ぶセルフマネジメント力                                | 社員男女 107名                        | リアルタイムオンライン講義 210分グループワーク | 質問       |
| C 県商工会連合会職員研修         | 「鬼滅の刃」から学ぶレジリエンス                                    | 商工会会員 20歳代～60歳代約 280名            | リアルタイムオンライン講義 90分         | 開催者コメント  |
| D 社社員・家族向けセミナー        | 『鬼滅の刃』流強い自分の作り方～弱い自分に今日でさよなら！～メンタルセミナー              | 社員・家族 20代～50代以上 1036名（申込者 1536名） | リアルタイムオンライン講義 50分         | 質問・アンケート |
| E 市役所職員研修             | レジリエンス研修  | 職員                               | 対面・オンライン 60分×2回           | 開催者コメント  |
| F 会員向け講演会             | 「鬼滅の刃」から学ぶレジリエンス 大ヒットマンガ『鬼滅の刃』は、なぜ子どもたちの心を奮い立たせるのか！ | 会員 30代～70代 経営者                   | 対面 60分                    | なし       |

### 3-2 フィードバックと結果

通常の研修では、アンケートやフィードバックコメントを実施し集計することが多いが、この2年間はコロナ禍でのオンライン開催が殆どであり、実施することが目的となりフィードバックの機会が減少したと言える。依頼研修の場合、講師から別途のアンケートを申し出るとは困難であることから、全ての研修でフィードバックを得られた訳ではなかった。その中で、当日と後日の質問事項の機会を設けるところが増えた。しかし、研修の実施が部署の業務となっている企業のD社では、出席確認とアンケートが実施されており、その結果を共有してもらえた。尚、アンケート項目については企業独自のものであった。

D社のアンケート結果では、回答者は942名であった。属性は、男性55%、女性45%で、20代が3%、

30代が10%、40代が34%、50代以上が53%であった。役職レベルは、担当34%、主任34%、課長級23%、部長以上9%であった。セミナー全体の満足度は、満足41%、やや満足40%、普通16%、やや不満3%であった。内容の理解については、とてもよく理解できた28%、理解できた63%、どちらとも言えない8%、理解できなかった1%であった。セミナーの内容が役に立つか、生活に取り入れられそうかについては、とても思った25%、いくつか思った64%、どちらともいえない9%、あまり思わなかった2%、全く思わなかった0%であった。

そして、別途記述形式にて質問への回答がなされた。「今回のセミナーを受けて記憶に残ったこと、気づいたことはありますか？」の問いに対しては、「ネガティブ思考＝鬼の思考、ポジティブ思考＝鬼殺隊、レジリエンス⇒図太く生きる」、「レジリエンス、考えるクセ、楽観力」、「リーチアウト力がレジリエンス、モチベーションに繋がること」、「レジリエンスを高めることがモチベーションや健康につながる」、「鬼と鬼殺隊の比較は参考になりました」、「自分も場合によって鬼のような考え、気持ちになってしまっていることがあるのだ…」ということに驚きました。それを抑制できる術を学んで、柱の域に達したいです」などの回答を得た。

また、「今回のセミナーを受けて面白いと思ったことはありますか？」の問いに対しては、「知っているアニメ、漫画を例にした内容だったので分かりやすくて面白かった」、「アニメのキャラクター視点からの考え方は新しい観点で、聴いていて面白かった」、「漫画から学べる事もあるという部分に共感を覚えると共に面白いと思いました」、「キャラクターの個性をレジリエンスという切り口から分析した話はとても面白かったです」、「キャラクターのレジリエンス。“あー。それわかる”と思って聞いてました。」、「キャラクターと、ストレス耐性に必要な要素をマッピングしてくださったので、とても分かりやすかったです。」、「漫画を事例に話してもらうことで、人物の性格などあらかじめ知っている情報が多いため、話が理解しやすく具体的になることに気づき関心した。」などの回答を得た。

この結果から、やや男性が多く40代以上が8割以上を占める中で、「鬼滅の刃」というマンガ（アニメとして理解しているものを含む）を教材とした心理学的アプローチは受入れられ、心理学用語と状況の理解を概ね促進できたと言えた。自己評価形式の回答であるが、理解度については「とてもよく理解できた・理解できた」が合わせて9割（91%）を超え、「役に立つか、生活に取り入れられそうか」については、「とても思った・いくつか思った」を合わせて約9割（89%）の回答であった。記述回答の結果でも、レジリエンススキルに関する言葉やマンガから理解を得た表現が散見され、ネガティブなコメントは無かった。

本セミナーでは、レジリエンスの概念を深めるために、構成要素（能力）を含む言葉の説明のほか、マンガを事例にレジリエンスを高める方法や敵扱いとなる鬼との対比、レジリエンスが低いために鬼となった理由を原因帰属と認知行動療法における考え方の説明を行った。鬼は元々人間であり、理不尽な状況に打ちのめされ、自己中心的な考えに支配されたことによって、鬼となることを受入れた存在である。この鬼のありさまは、現実生活では人間社会の負の部分強調しているものであり、反面教師であることを示した結果、レジリエンスが高い人と低い人との違い、レジリエンスが高いことのメリットが強調され、受講者の理解に繋がった。

#### 4. まとめ

本研究の目的は、マンガが心理学的アプローチとして教材になり得ることについて検討することであり、1 事例を通してその可能性が高いことが示唆されたとと言える。「鬼滅の刃」というマンガを通し、このマンガを知っている人が多いほど、心理学用語の説明がストーリーやキャラクターに匹敵することがわかり、理解が容易となったと考えられる。とくに、レジリエンスの概念は「鬼滅の刃」のストーリーやキャラクターの姿勢に一致する部分が多く、心理学的アプローチに相当している。マンガを教材とし、心理学的な教育を行うことは理解が促進され、一定の効果があることが期待される。社会人は、学校教育期間を終えて年数が経っており、心理学を中心とした教育は受けていない人も多く、メンタルヘルスや健康教育、個人のキャリア開発などの心理学を根幹にしたリカレント教育としての可能性を持つと考えられる。

今後の課題として問題の1つは、対象マンガを知らない人にも理解を促すための工夫が必要な点である。限られた時間の中で、マンガの説明を入れていくが、マンガそのものを見せることが不可であることからイメージ促進には限界がある。マンガの要約とキーワードなどを事前に配布し、理解促進に当たることが必要である。

そして、課題の2つ目は実験ではなく研修やセミナーであることから、受講者へのアンケート実施が容易ではないことが挙げられる。実験であれば、実施するにあたりレジリエンスやその構成要素(能力)の増減と理解力を事前・事後アンケートを通して集めることができるが、民間企業や自治体での研修においては、講師が独自調査を行うことは困難である。開催者に対し、積極的にアンケートや効果測定を行うことを提案していく必要があり、更にデータを集積していくことが望まれる。

マンガを心理学的アプローチとして教材とすることの可能性は高く、今後は「鬼滅の刃」での実績を重ね、更に他のマンガを教材とすることを検討していく。

## 〈注〉

- 1) 心理学の定義は多様にあるが、「心理学大図鑑」(2013)では「心と行動の学問であり、科学的な手法」と表現されている。
- 2) 「マンガ」は「漫画」「コミック」などの言い方があるが、ここでは「マンガ」で統一している。
- 3) コミックの発行部数は、出版社より発表されており、2021年2月15日に1億5000万部を突破し、Yahoo ニュースやMANTANWEB 他、多数のWEB サイトニュースで発表された。累計発行部数の発表は、各時期で発表されており、テレビアニメが放送される直前の2019年3月時点では11巻まで発行部数は450万部であった。テレビアニメの放送終了時の2019年9月は16巻までの発行で1200万部となり、18巻が発行された2019年12月には2500万部となった。劇場版「鬼滅の刃」無限列車編が公開された後の2020年2月に19巻が発行されこの巻の初版発行部数は150万部であり、累計発行部数は4000万部となった。2020年5月に20巻が発行され6000万部、21巻発行時の2020年7月は初版発行300万部で累計発行部数は8000万となり、2020年10月2日発行の22巻で1億部を突破した。2020年12月に最終23巻が発行され、初版発行部数は約395万部を記録し、累計1億2000万部を突破した。テレビアニメ終了後より発行部数は上昇し、映画を契機に爆発的な記録を更新し、今尚、上昇している。
- 4) 劇場版「鬼滅の刃」無限列車編の公開は2020年10月16日であり、現在も観客動員数と興行収入を更新している。映画の興行収入ランキングは、興行通信社が発表しており、2020年12月6日時点で歴代興行収入ランキング第2位となり288億5000万円を記録した。2021年5月23日に興行収入400億円を突破し、2022年1月10日時点で興行収入は404億3000万となり、第2位となったスタジオジブリ作品の「千と千尋の神隠し」と87億の差が出ている。
- 5) 「鬼滅貧乏」とは、「鬼滅の刃」の関連グッズを多種・大量に購入することで、お金を使い過ぎて経済状態が悪くなったことを示す言葉である。2020年10月29日午前中にTwitterトレンドに

「鬼滅貧乏」が急浮上した。同日、朝の情報番組である『グッとラック!』(TBS系)で言葉が紹介されたことからSNSで取り上げられるようになった。従来のアニメオタクはグッズの大量購入は通常の行動であるが、「鬼滅の刃」で初めてアニメやマンガに興味を持ち、次々に販売されるグッズを購入したことからの、急激な変化に戸惑っている様子も含まれていると考えられている。

- 6) 「鬼滅の刃」の物語に対する要約や見解は様々にあるが、「心と社会」(2021)で『「鬼滅の刃」が教えてくれた折れない心のあり方」(井島, 2021)で、要約したものを使用した。

## 〈参考・引用文献〉

- Alvord, M. K., & Grados, J. J., 2005, *Enhancing resilience in children: A proactive approach*. Professional Psychology: Research and Practice, 36(3), 238-245.
- キャサリン・コーリン, ナイジェル・ベンソン, ジョアンナ・ギンズバーグ, ヴーラ・グラント, メリン・ラジャン, マーカス・ウィークス, 2013, 心理学大図鑑 (訳) 小須田健, (監) 池田健, 三省堂
- cinema café.net 2021年5月24日 『鬼滅の刃』全世界興収517億円!北米からアジア、中東・アフリカまで新記録続々 <https://www.cinemacafe.net/article/2021/05/24/72971.html> 2022年1月10日閲覧
- CINEMA ランキング通信 2022年1月10日 歴代ランキング <http://www.kogyotsushin.com/archives/alltime/> 2022年1月12日閲覧
- 吾峠呼世晴, 2016, 「鬼滅の刃」3巻 第24話 集英社
- 吾峠呼世晴, 2017, 「鬼滅の刃」8巻 第66話 集英社
- 小林朋子, 2021, 「学校教育を活かした子どものレジリエンスの育成—学校危機の予防と回復を支えるアプローチ」 『教育心理学年報』60: 155-174.
- MANTANWEB 2021年2月15日 鬼滅の刃:コミックス累計1億5000万部突破 最終巻発売から2カ月で3000万部増 衰えぬ勢い <https://mantan-web.jp/article/20210212dog00m200072000c.html> 2022年1月11日閲覧
- Masten, A. S., Best, K. M., Norman Garmezzy, N, 1990, *Resilience and development: Contribution from the study of children who overcome adversity*. Development and Psychopathology 2, 425-444
- 向井紋子・船橋篤彦, 2020, 「マンガ教材を用いた性意識・性行動の育成—自己・他者を深く理解するために—」, 『広島大学附属東雲中学校研究紀要』中学教育第50集: 43-47.
- 本郷一夫, 2015, 「人との関係を通して育つレジリエンス」 『特別支援教育研究』696: 2-7.
- 井島由佳, 2020, 「大学生のマンガを読む行動とマンガから影響を受けたことの一考察」 『大東文化大学社会学研究所紀要』1巻: 47-58.
- 井島由佳, 2021, 「『鬼滅の刃』が教えてくれた折れない心のあり方」 『心と社会』52巻2号: 102-107.
- 石毛みどり・無藤隆, 2005, 「中学生における精神的健康とレジリエンスおよびソーシャル・サポートとの関連—受験期の学業場面に着目して」 『教育心理学研究』53(3): 356-367.
- Karen Reivich and Andrew Shatté, 2002, *The Resilience Factor: 7 Keys to Finding Your Inner Strength and Overcoming Life's Hurdles*, Harmony. (=2015.宇野カオリ訳『レジリエンスの教科書』草思社.)
- Sirabeeリサーチ 2020年10月29日13:00 トrend急浮上の「鬼滅貧乏」その実態に全国のオタクから疑問の声相次ぐ <https://sirabee.com/2020/10/29/20162439100/> 2022年1月10日閲覧
- 高橋正人, 2020, 「『文学国語』におけるマンガ教材の開発に関する研究: 永島慎二『漫画家残酷物語』及び『黄色い涙』をめぐって」 『福島大学人間発達文化学類論集』31: 39-54.
- 植田健太郎・中地展生, 2021, 「レジリエンスが大学生の援助要請スタイルに与える影響」 『帝塚山大学心理科学論集』4: 68-69.
- Yahoo!ニュース 2022年/6月5日10:13 「鬼滅の刃」 アニメ映画の興収400億円突破の意味 <https://news.yahoo.co.jp/byline/kawamuraikou/20210605-00241366> 2022年1月12日閲覧



# A Study on the Development of Teaching Materials for Psychological Approaches Using Comics

IJIMA, Yuka

The purpose of this study was to examine the possibility that comics can be a teaching material as a psychological approach. In this paper, through a case study of a seminar for working adults, we showed that manga has a high potential to be a teaching material.

Recently, the concept of resilience has been mentioned in stress management and other psychological education. In explaining the concept of resilience and its capabilities, through the manga "Demon slayer," we found that the explanation of psychological terms was comparable to the story and characters, which made it easier to understand. In particular, the concept of resilience corresponds to the story of "Blade of Extinction" and the attitude of the characters in many ways, which is equivalent to a psychological approach. It was suggested that using manga as a teaching material and providing psychological education can promote understanding and have a certain effect.

It was suggested that a psychological approach using comics as teaching materials has potential as recurrent education rooted in psychology, such as mental health, health education, and personal career development, because many working people have been out of school for years and have not received any education focusing on psychology.

Key words : Psychological Approach, teaching material, comic, Resilience, "Demon slayer"